

吾妻山の火山活動解説資料（平成 20 年 12 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

11 月 11 日から大穴火口で噴気活動がやや活発化していますが、地震活動などに特段の変化はありません。火口内では、噴気、火山ガスの噴出等が見られますので警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1、図 3）

大穴火口の噴気活動はやや活発な状況で推移し、上野寺（大穴火口の東北東約 14km）に設置してある遠望カメラによる観測では、噴気の高さは 100～400m で推移しています。

11 月に実施した調査により、噴気には二酸化硫黄及び硫化水素が含まれていることが確認されています。



図 1 吾妻山 遠望カメラでの大穴火口の噴気の様相

2008 年 12 月 3 日 11 時 40 分頃、福島市上野寺（大穴火口の東北東約 14km）からの撮影。
大穴火口からの噴気の高さは 400m。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.sendai-jma.go.jp/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

次回の火山活動解説資料（平成 21 年 1 月分）は平成 21 年 2 月 6 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 17 総使、第 503 号）。

本資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 25000（地図画像）福島」を複製したものです（承認番号平 17 総複、第 650 号）。

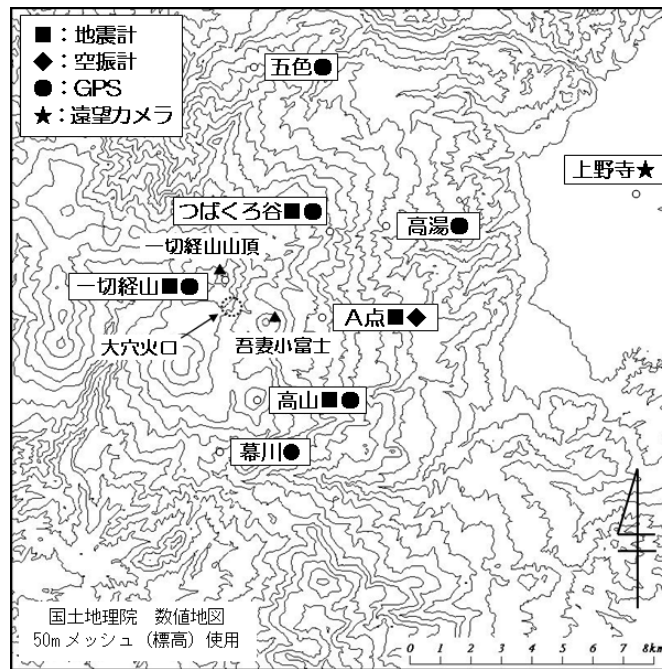


図2 吾妻山 観測点配置図

・地震や微動の発生状況（図4）

8月以降、振幅の小さな火山性地震がやや多い状態で続いていましたが、12月は少ない状態で推移しました。（12月：32回、11月：93回、10月：84回、9月：80回、8月：55回）。また、振幅の大きな地震はありませんでした。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図5～6）

広域のGPS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

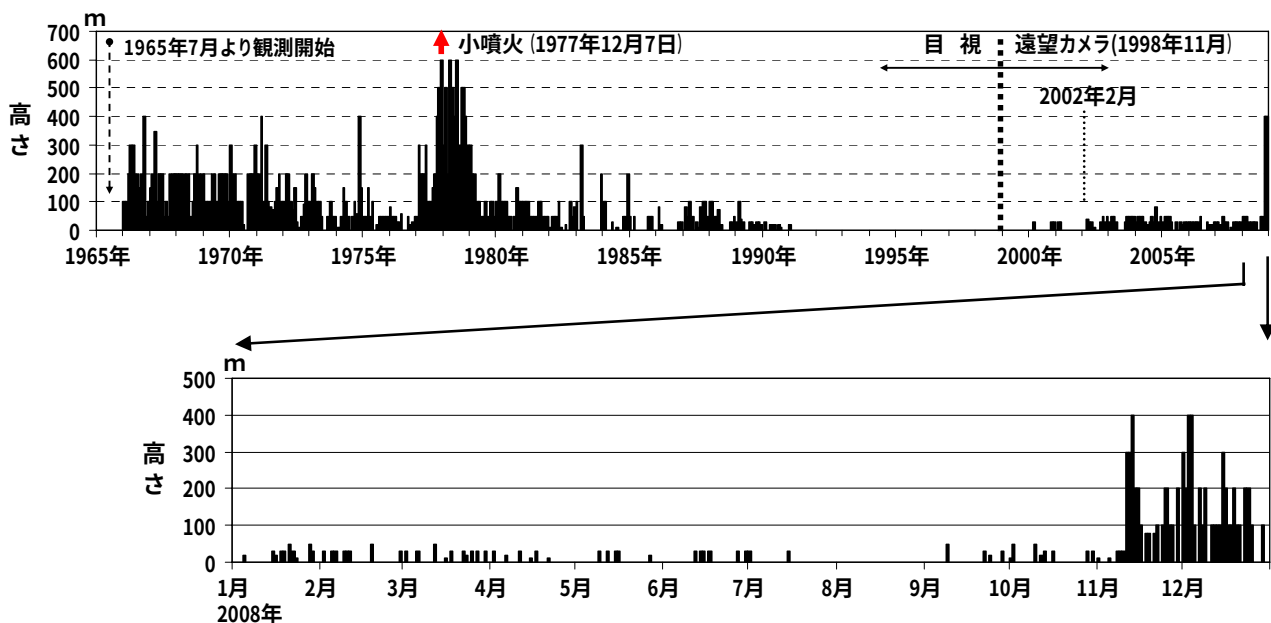


図3 吾妻山の噴気の高さ 上段：月別最大噴気（噴煙）高（1965年7月～2008年12月）
下段：日別最大噴気高（2008年1月～12月）

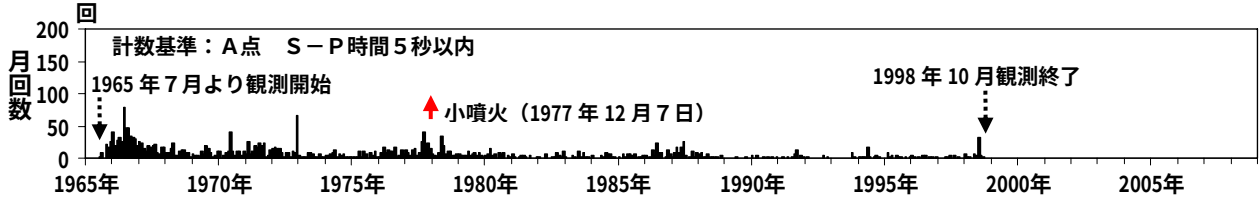
1998年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約20km）からの目視観測です。

1998年から遠望カメラ（大穴火口の東北東約14km）による観測です。

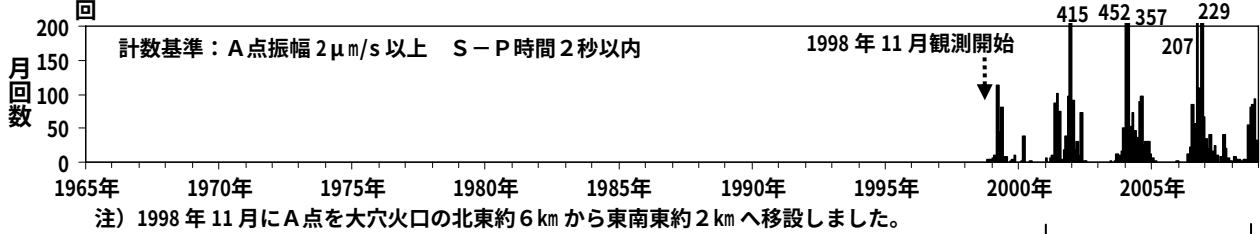
2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さです。

2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。

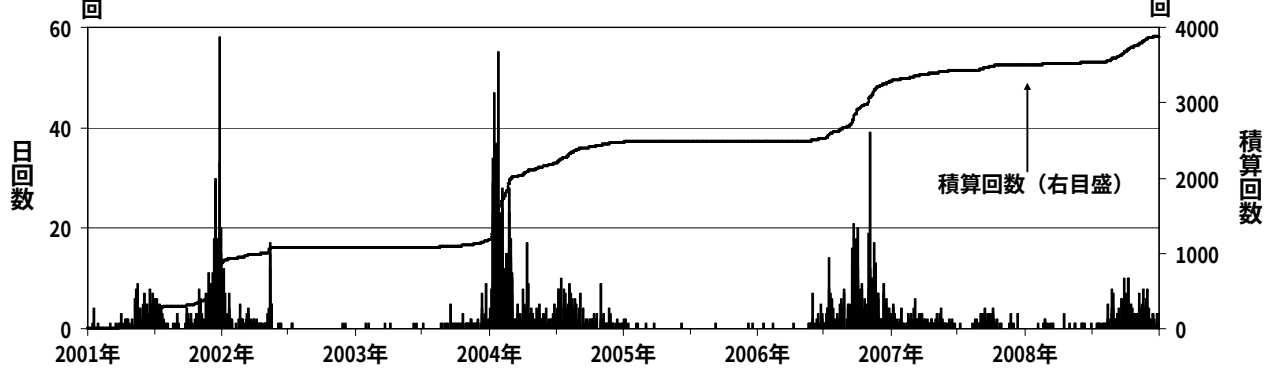
① 吾妻山 月別地震回数（1965 年 7 月～1998 年 10 月）



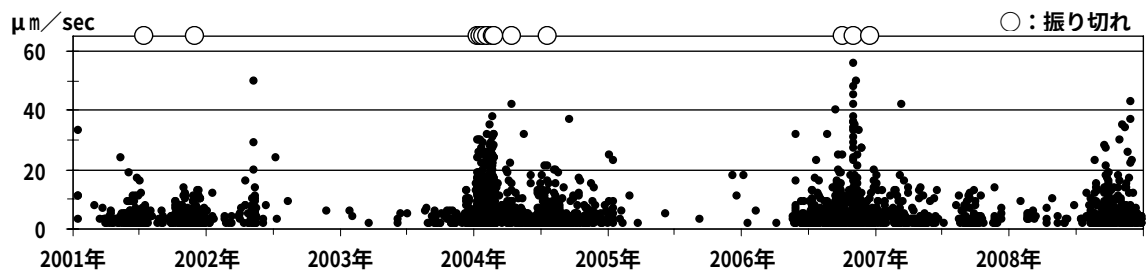
② 吾妻山 月別地震回数（1998 年 11 月～2008 年 12 月）



③ 吾妻山 日別地震回数（2001 年 1 月～2008 年 12 月）



④ 吾妻山 A点最大振幅の推移（2001 年 1 月～2008 年 12 月）



⑤ 吾妻山 日別微動回数（2001 年 1 月～2008 年 12 月）

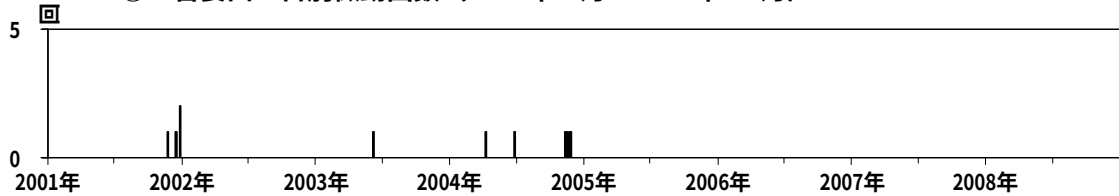


図 4 吾妻山の地震活動及び微動回数の推移

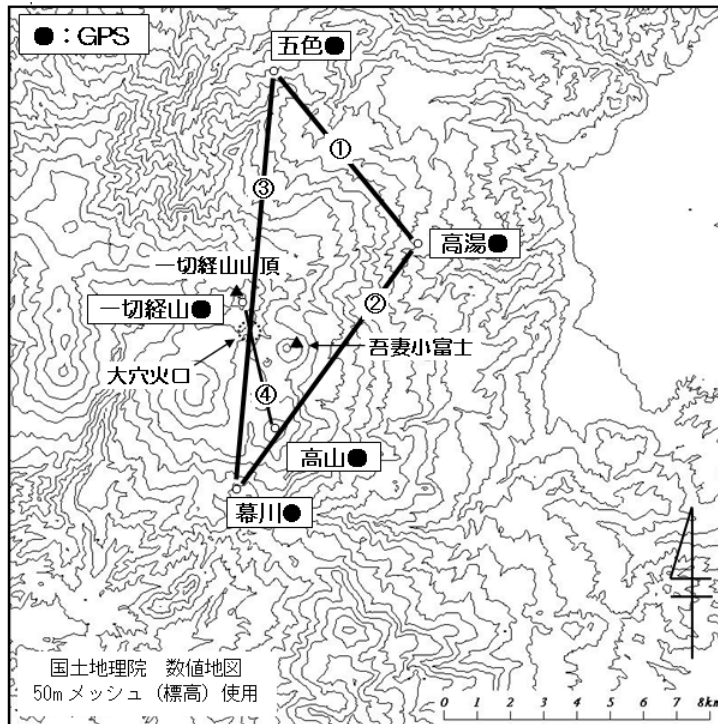


図5 吾妻山 GPS 観測点配置図

GPS 基線①～④は図6の①～④に対応しています。

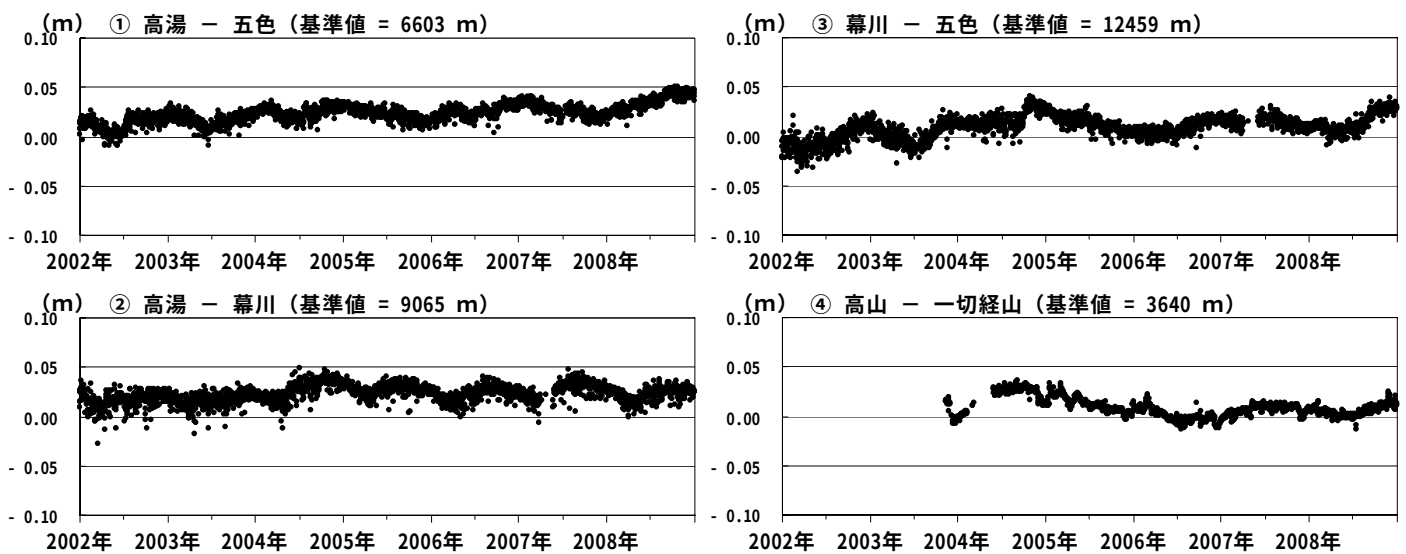


図6 吾妻山 GPS 基線長変化図（2002 年 1 月～2008 年 12 月）

①～④は図5の GPS 基線①～④に対応しています。

幕川観測点障害のため、一部に欠測があります。